

案内図



〔JR神田駅からの行き方〕
 神田駅西口を出てすぐの「西口商店街」を200mほど直進し、「パチンコみとや」がある小さな十字路を左折、150mほど行った左側の8階建てのビルです。
 ◀「西口商店街」入り口

〈会場〉
 東京都千代田区内神田2-4-6 WTC内神田ビル
 (株)社会保険研究所7階
 TEL: 03-3252-7901 (代) FAX: 03-3252-7971
 〈交通手段〉
 J R 線: 神田駅西口 徒歩5分
 銀座線: 神田駅 徒歩6分
 丸ノ内線: 大手町A2出口 徒歩5分

後援



医療にかかわるすべての情報を提供
 『社会保険旬報』



年金制度をわかりやすくコンパクトに解説
 『月刊 年金時代』



介護保険に関する情報をいち早く総合的に提供
 『月刊 介護保険情報』

第9回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー 開催のご案内

現在、子どもの6人に1人が貧困状態であると言われています。本フォーラムでも子どもを巡る問題はたびたび取り上げて参りましたが、子どもを取り巻く環境は依然難しい状況です。今私たちは何をすべきなのか、香取厚生労働省雇用均等・児童家庭局長を迎え「子ども・子育ての現状と課題」をご講演いただきます。さらに、世界的に活躍をされているオープン・シティ研究所の日下部元雄代表と日下部笑美共同代表からは、貧困の問題を含めて、子どもに関する問題を調査した数字から「エビデンスに基づく支援システムの構築」をお話しいたします。

そして、第1回のフォーラムでご登壇いただいた社会福祉法人「にんじんの会」石川江江理事長と、同氏の立教大学大学院での講座で学ぶ20代～40代の学生との「これからの社会保障とは？」と題した発表の時間も設けております。これからの社会を支える世代の声も必聴です。

また、災害が頻発する昨今、その対策は万全でしょうか？東日本大震災後、被災者支援のための無料法律相談に関わってきた弁護士岡本正氏には、法的な立場から災害復興を支援する術として氏の提唱する「災害復興学」をご紹介します。

もうお一人、厚生労働省から辺見老健局長振興課長をお迎えして、一億総活躍社会がめざすところの「地域包括ケアシステムの構築と市町村の役割」をお話しいたします。

みなさまの新年度からのご活躍のお力になれば幸いです。
 ご参加をこころよりお待ちしております。



第9回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー 参加申込書

お名前	ふりがな	所属議会
ご住所	〒□□□-□□□□	電話
		F A X
		Eメールアドレス

※ご記入いただいた個人情報は、フォーラムにご参加いただく皆さまへのご案内・情報提供の目的に使用させていただきます。管理にあたっては、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、漏えい、紛失、毀損または不正アクセス等の防止に努めます。

お申し込み先

F A X ▶ 03-3527-1028 または
 Eメール ▶ tirare@abelia.ocn.ne.jp でお申し込みください。

- ・お申し込みいただいた方には、後日、事務局から受付完了メールをお送りいたします（メールアドレスのご記入がない場合FAXにて）。
- ・事務局からメールが届きましたら、右記の口座へ参加費をお振り込みください。

【振込先】三菱東京UFJ銀行 神保町支店
 【口座番号】(普)0506395

お問い合わせ先

T E L ▶ 03-3253-0570 ご不明な点は、左記までお問い合わせください。

社保研ティラーレのホームページからもお申し込みいただけます。 <http://tirare.jp/>

〔開催概要〕

日時	平成28年4月20日(水)、21日(木)
参加費	事前お振込み(4月13日(水)まで)の場合: 25,000円 当日お支払いの場合: 30,000円 ※含資料代および関連書籍代、消費税
会場	(株)社会保険研究所 〒101-8522 東京都千代田区内神田2-4-6 WTC内神田ビル7階 (JR神田駅西口下車徒歩5分)

定員60名
 定員になり次第締切

- 主催: 地方から考える「社会保障フォーラム」事務局
 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3 児谷ビル3F 社保研ティラーレ内
 TEL 03-3253-0570 FAX 03-3527-1028
- 協力: (株)社会保険研究所 / 年友企画(株) / (株)社会保険出版社

プログラム

〔1日目：4月20日(水)〕	
12:00	受付開始
12:30	開講のあいさつ、オリエンテーション
12:45	講義1 「若い世代から発信する日本の社会保障とは」 ●講師：石川 治江氏（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授） ●学生（20代、30代、40代）
14:00	討議
14:30	休憩
14:40	講義2 「エビデンスに基づく子育て支援システムの構築」 ●講師：日下部 元雄氏（㈱オープン・シティー研究所 代表取締役 所長） ●講師：日下部 笑美氏（㈱オープン・シティー研究所 共同代表）
15:40	討議
16:10	休憩
16:20	講義3 「子ども・子育ての現状と課題」 ●講師：香取 照幸氏（厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 局長）
17:20	討議
17:50	情報交換会
18:50	終了

〔2日目：4月21日(木)〕	
9:30	受付
10:00	講義1 「災害復興法学のすすめ～住民ニーズに応える災害救助法と個人情報の徹底活用～」 ●講師：岡本 正氏 （銀座パートナーズ法律事務所 弁護士／中央大学大学院公共政策研究科客員教授）
11:00	討議
11:30	お昼休み
12:30	講義2 「地域包括ケアシステムの構築と市町村の役割」 ●講師：辺見 聡氏（厚生労働省 老健局 振興課長）
13:30	討議
14:00	休憩
14:10	取材の現場から 「①社会保険旬報 ②介護保険情報 ③年金時代」
15:10	閉講のあいさつ、次回開催のお知らせ
15:15	終了

※講師・テーマは予定です。予告なく変更されることもありますので予めご了承ください。
 ※昼食は各自でお取りください。

講師一覧

〔1日目：4月20日(水)〕

●石川 治江氏

障害者との出会いをきっかけに「立川駅にエレベーターを設置する」運動を展開。1987年に非営利の民間福祉団体としてケア・センターやわらぎを設立。現在、特定非営利活動法人となった同団体代表理事、社会福祉法人にんじんの会理事長、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授ほか幅広く活躍。立教大学大学院では、介護・福祉の世界にとどまらず、社会デザインをテーマにこれからの日本の社会の担い手となるべく若い世代の育成に当たっている。

●日下部 元雄氏

1970年大蔵省（現財務省）入省。国際通貨基金（IMF）勤務。1997年から世界銀行副総裁、2003年からはロンドンにある欧州復興開発銀行総裁特別顧問を務める。2009年、ロンドンでオープン・シティー・ファウンデーション（OCF：英国法人）を設立。貧困への連鎖過程を計量的に明らかにする「コミュニティ・カルテ・システム」（CCS）による調査を、学術振興会の助成を得て日英の3都市で実施。2013年、日本でオープン・シティー研究所を設立。厚生労働省からの研究委託を受け、東京都足立区など8都市におけるCCS調査を実施。子どもの発達期の問題から波及する負の連鎖や生活困窮の要因・経路を分析。これらの研究は、2015年10月に国際ケア協会（ICCC）よりパイオニア賞を受賞している。

●日下部 笑美氏

世界銀行ボランティアサービス執行役員会受入委員会委員長（1998-2000）、国連UNPAN、WHO共催ラウンドテーブル（2007）、国連本部人間居住計画（2012）パネリストなどを経て現職に至る。

日下部元雄氏とともに、日英での子どもの発達支援および生活困窮への負の連鎖に関わる実証研究に参画。ソーシャル・キャピタルと持続可能なまちづくりが主要な研究分野であり、コミュニティ・カルテ・システムを用いた自治体の調査や、「まちの起業塾」構想の企画立案に携わっている。

●香取 照幸氏

東京都出身。1980年厚生労働省入省 保険局、年金局、老健局等の要職を歴任。
 2010年 政策統括官（社会保障担当）
 2012年 年金局長、現児童家庭局長

〔2日目：4月21日(木)〕

●岡本 正氏

神奈川県鎌倉市出身。2009年～2011年には内閣府上席政策調査員として行政改革・規制改革を担当。日弁連災害対策本部室長として、東日本大震災後の4万件の法律相談をデータベース化し、復興政策実現に関与。復興政策の軌跡を未来へ伝える『災害復興法学』を創設。同名書籍を出版（慶應義塾大学出版会）。中央大学大学院客員教授、慶應義塾大学法科大学院非常勤講師、東日本大震災復興支援財団理事等も務める。

●辺見 聡氏

群馬県出身。1990年厚生労働省入省 大臣官房人事課、社会・援護局、老健局等
 2001年 在ジュネーブ国際機関日本政府代表部一等書記官 健康局、社会・援護局等
 2012年 社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長
 2014年 老健局高齢者支援課長、現老健局振興課長

第8回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナーの様子

